

患者向医薬品ガイド

2019年2月改訂

マキュエイド眼注用 40 mg

【この薬は？】

販売名	マキュエイド眼注用 40 mg MaQaid OPHTHALMIC INJECTION 40mg
一般名	トリアムシノロンアセトニド Triamcinolone Acetonide
含有量 (1バイアル 中)	40 mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、合成副腎皮質ホルモン剤(ステロイド)と呼ばれるグループに属する注射薬です。
- ・この薬は、透明な硝子体に付着し、硝子体を見やすくします。また、糖尿病に合併する眼の中の炎症を抑え、網膜の腫れを鎮め、視力を改善します。ただし、病気の原因そのものを治す薬ではありません。
- ・次の目的または病気の人に医療機関で使用されます。

【硝子体内投与】

○硝子体手術時の硝子体可視化

○糖尿病黄斑浮腫

【テノン嚢下投与】

下記の疾患に伴う黄斑浮腫の軽減

- 糖尿病黄斑浮腫
- 網膜静脈閉塞症
- 非感染性ぶどう膜炎

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

〔この薬を使用される全ての方に共通〕

- ・過去にマキュエイド眼注用 40 mgに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

〔硝子体内投与：糖尿病黄斑浮腫に使用される場合〕

- ・眼または眼の周囲に感染のある人、あるいは感染の疑いのある人

〔硝子体内投与：糖尿病黄斑浮腫に使用される場合〕

〔テノン嚢下投与：糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫に使用される場合〕

- ・眼圧を下げる薬が効きにくい緑内障の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

〔この薬を使用される全ての方に共通〕

- ・緑内障・高眼圧症の人
- ・白内障の人

〔硝子体手術時の硝子体可視化に使用される場合〕

〔テノン嚢下投与：糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫に使用される場合〕

- ・眼または眼の周囲に感染のある人、あるいは感染の疑いのある人。

○この薬には併用を注意すべき薬があります。（この薬の効果が弱くなることがあります。）他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師又は薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

〔医療機関で使用される場合〕

通常、成人の使用する量および回数は以下の通りですが、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において眼内（硝子体内、テノン嚢下）に注射されます。

〔硝子体手術時の硝子体可視化に使用される場合〕

一回量	トリアムシノロンアセトニドとして 0.5～4mg
-----	--------------------------

〔硝子体内投与：糖尿病黄斑浮腫に使用される場合〕

一回量	トリアムシノロンアセトニドとして 4mg
-----	----------------------

*再投与する場合は、3ヶ月以上の間隔をあけます。

[テノン嚢下投与：糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫に使用される場合]

一回量	トリアムシノロンアセトニドとして 20mg
-----	-----------------------

*再投与する場合は、3ヶ月以上の間隔をあけます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

[硝子体手術時の硝子体可視化に使用される場合]

- ・ 眼内炎等があらわれることがあるので、目の痛み、目の重苦しさ、目の異物感などの異常があらわれた場合にはただちに医師に連絡してください。
- ・ 眼圧が上昇することがあるので、定期的な眼圧検査が行われます。
- ・ 白内障等があらわれることがあるので、まぶしい、かすんで見える、視力の低下、眼鏡で視力が出ないなどの異常があらわれた場合にはただちに医師に連絡してください。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

[硝子体内投与：糖尿病黄斑浮腫に使用される場合]

- ・ 過去に消毒薬や麻酔薬、抗菌点眼薬、散瞳薬などで過敏な反応を経験したことがないかについて、十分に確認を行います。
- ・ 眼内炎等があらわれることがあるので、目の痛み、目の重苦しさ、目の異物感などの異常があらわれた場合にはただちに医師に連絡してください。
- ・ 眼圧が上昇することがあるので、この薬使用後すぐに眼の検査を行い、翌日以降も定期的な眼圧検査が行われます。
- ・ 白内障があらわれる、または悪化することがあり、この薬使用後 6 ヶ月以降にあらわれた、または悪化した人もいます。特に過去に白内障の手術をしたことのない人は定期的な検査が行われます。また、まぶしい、かすんで見える、視力の低下、眼鏡で視力が出ないなどの異常があらわれた場合にはただちに医師に連絡してください。
- ・ 注射部位の感染を予防するため、この薬の使用前から使用後 3 日まで、医師の指示に従って抗菌剤の目薬を点眼してください。
- ・ 物がかすんで見えたり、眼の前に黒い点や小さなごみ、時には輪のようなものが動いて見えたりする（飛蚊症）ことがあるので、その症状が回復するまで、機械類の操作や自動車等の運転はしないでください。
- ・ 糖尿病が悪化することがあるので、定期的な血糖値の測定が必要です。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

[テノン嚢下投与：糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫に使用される場合]

- ・ 過去に消毒薬や麻酔薬、抗菌点眼薬、散瞳薬などで過敏な反応を経験したことがないかについて、十分に確認を行います。
- ・ 眼圧が上昇することがあるので、定期的な眼圧検査が行われます。
- ・ 白内障があらわれる、または悪化することがあり、この薬使用後 6 ヶ月以降にあらわれた、または悪化した人もいます。特に過去に白内障の手術をした

ことのない人は定期的な検査が行われます。また、まぶしい、かすんで見える、視力の低下、眼鏡で視力が出ないなどの異常があらわれた場合にはただちに医師に連絡してください。

- ・ 注射部位の感染を予防するため、この薬の使用前から使用後 3 日まで、医師の指示に従って抗菌剤の目薬を点眼してください。
- ・ 糖尿病が悪化することがあるので、定期的な血糖値の測定が必要です。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
眼障害 がんしょうがい	かすんで見える、まぶしい、視力の低下、眼鏡で視力が出ない、目の痛み、目の充血、霧がかかったような見え方、頭痛、吐き気、目の重苦しさ、目の異物感、視野が欠けて狭くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
頭部	頭痛
眼	かすんで見える、まぶしい、視力の低下、眼鏡で視力が出ない、目の痛み、目の充血、霧がかかったような見え方、目の重苦しさ、目の異物感、視野が欠けて狭くなる
口や喉	吐き気

【この薬の形は？】

性状	白色の結晶性の粉末
形状	注射用粉末製剤（バイアル） 

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	トリアムシノロンアセトニド
------	---------------

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：わかもと製薬株式会社 (<http://www.wakamoto-pharm.co.jp/>)

お客様相談室

電話：03-3279-1221

FAX：03-3279-1272

受付時間： 9：00～12：00

13：00～17：30

(土、日、祝日、当社の休業日を除く)